

平成30年度の地域密着型金融推進計画及び実績

項目	推進計画	実績									
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮											
(1) 融資取引先への月1回以上の訪問	営業担当者が、月に1回以上、融資取引先企業を訪問し、売上の推移や資金繰り状況を聞き取り、必要に応じ資金支援や経営改善計画の策定の援助、或いは貸出条件の緩和等の申し出に対応するなど、コンサルティング機能の発揮に努めます。	平成30年度中の貸出条件の緩和等の申込み180件があり、187件（平成29年度中に申込まれたものを含む）に対応しました。									
(2) 事業価値を見極める融資手法の活用	企業の将来性、技術力を的確に評価できる人材の育成のため、下記の取組みを実施します。 ・上部団体（全国信用組合中央協会・大阪府信用組合協会）主催の融資関連スキルアップ研修等に職員を派遣。 ・本部職員を講師とする、営業課職員を主な対象とした融資知識、営業スキル研修を実施。	・上部団体主催の営業課職員を主な対象とした研修等へのべ54名を派遣しました。 ・審査監理部を主担として、営業課職員を主な対象とした研修を毎月（8月を除く）実施しました。									
(3) 経営改善支援	本支店一体となった経営改善支援チームで、経営改善支援先を選定し、経営改善への支援策の検討及び実施を行います。	平成30年度の経営改善支援取組み先7件 うち、期末に債務者区分がランクアップした先0件									
(4) ビジネスマッチング	大阪府信用組合協会の主催により、府下信用組合が共同して、お取引先企業の販路拡大を目的とした情報誌「しんくみビジネスサポート」を発刊いたします。	大阪府信用組合協会の主催により、平成30年9月に「しんくみビジネスサポート」を7,700部発刊しました。信用組合取引先318社を掲載し、当組合取引先からも8社掲載致しました。									
(5) ローン商品等の販売	原則、担保・保証人不要の商品である「大阪協栄フリーローン」、「大阪協栄ビッグローン」、「大阪協栄サポートローン」や、プロパー融資の取り組みである「創業者向け不動産業者購入支援ローン」の推進、日本政策金融公庫との連携により幅広い資金ニーズに対応します。	平成30年度の取扱い実績 <table border="1"> <tr> <td>・大阪協栄サポートローン</td> <td>119件</td> <td>1,068百万円</td> </tr> <tr> <td>・大阪協栄ビッグローン</td> <td>43件</td> <td>43百万円</td> </tr> <tr> <td>・大阪協栄フリーローン</td> <td>6件</td> <td>8百万円</td> </tr> </table>	・大阪協栄サポートローン	119件	1,068百万円	・大阪協栄ビッグローン	43件	43百万円	・大阪協栄フリーローン	6件	8百万円
・大阪協栄サポートローン	119件	1,068百万円									
・大阪協栄ビッグローン	43件	43百万円									
・大阪協栄フリーローン	6件	8百万円									
2. 地域の面的再生への積極的な参画											
(1) 積極的な融資運用	スキマ金融とクイックレスポンスにより、中小零細企業の皆さまの資金ニーズに対して、必要な時に必要な金額を積極的かつ迅速に提供いたします。	スキマ金融とクイックレスポンスにより、中小零細企業の皆さまの資金ニーズにお応えした結果、平成30年度の融資量増分実績は184億円、前年度比5.00%の伸び率となりました。									
3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信											
(1) 利用者満足度アンケートの実施	毎年一回、利用者満足度アンケートを実施し、アンケート結果およびアンケートでのお客さまの要望・意見に対する当組合の対応・改善内容等をホームページに掲載いたします。	平成30年12月～平成31年1月に利用者満足度アンケートを実施し、アンケート結果をホームページに掲載いたしました。									
(2) 情報発信	地域密着型金融推進の計画と実績をホームページに掲載いたします。	地域密着型金融推進の計画と実績をホームページに掲載いたしております。									